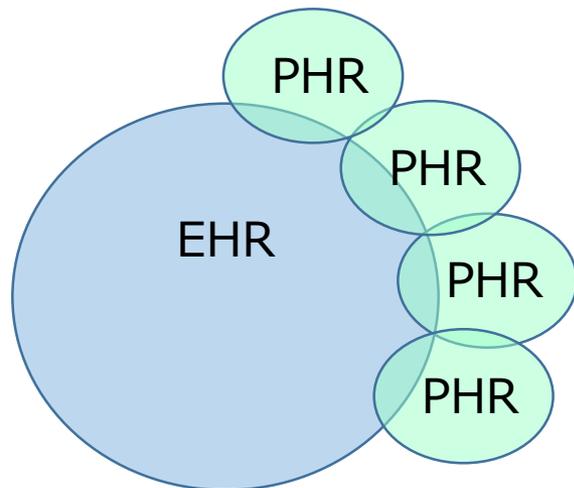


患者・市民参画

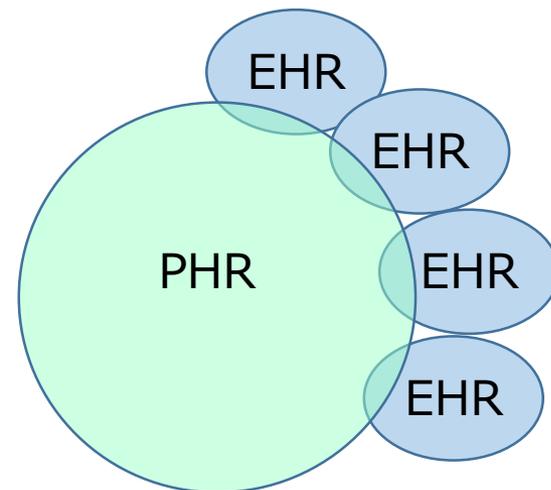
(PPI : Patient and Public Involvement)

- 医療デジタルトランスフォーメーション（DX）のキーワード
- 患者エンゲージメント、市民エンゲージメント
- 「患者が医療に参加」=>「患者主体の疾病管理に医療が参加」へ

近未来（DX前）



DX後



医療で拡大するスマートフォンの活用

データ共有の
方向

- | | |
|----------------------------------|----------|
| 1. PHR (治療アプリも含む) | Dr ← Pt |
| 2. 電子カルテ・マイナポータルビューアー | Dr → Pt |
| 3. ウェアラブルセンサーも含めた IoTの基地局 | Dr ← Pt |
| 4. 遠隔医療や遠隔介護のインターフェース | Dr ← Pt |
| 5. 医師予約やリマインダー | Dr → Pt |
| 6. 処方薬、食事、運動などの自動リマインダー | Dr → Pt |
| 7. ePRO (患者評価報告), 治療への意見 | Dr ← Pt |
| 8. 患者の経験 (患者満足調査含む) | Dr ← Pt |
| 9. 動的同意取得 (データ/試料の2次利用) | Dr → Pt |
| 10. 医療費支払い (電子商取引) | Dr → Pt |
| 11. 医療スタッフあるいは他の患者とのコミュニケーションツール | Dr ← Pt+ |
| 12. ソーシャルメディアやインターネットの閲覧 | Pt |
| 13. 健康アプリ (ダイエット、シリアスゲーム、健康予測など) | Pt |
| 14. 緊急時利用 (個人的緊急時、災害、パンデミック) | Dr ← Pt |

患者参画（患者エンゲージメント）の本質は？

現在

高血圧の薬で〇〇というお薬を処方しました。
××という副作用があるかもしれないのでその時は一旦やめて教えてください

患者 参画

血圧の薬をこの4つのうちから選びましょう。
Aは一日一回内服で力価は平均-25mmHg/錠です。副作用はXXと少な
目で、3割負担なら一か月分が〇〇円（高い！）です。
Bは、・・・・・・・・・・・・・・・・
Cは、・・・・・・・・・・・・・・・・
Dは、、一日二回内服で力価は-15mmHg/ 2 錠です。副作用はXXと多
めで、ジェネリックなので3割負担なら一か月分が〇〇円（安い！）です。
長く飲む薬ですのでしっかり考えて選びましょう

自分で考えて選択した薬剤の服用率は高い

費用対効果が高い

倫理的、患者満足度的に優
れているのは当然のこととして
医療の質が向上する

技術的標準化 VS 臨床的標準化

- 技術的標準化 HL7 FHIR
- 臨床的標準化 標準コード
ユースケース毎の項目セット

例えば、電子カルテの「経過記録（SOAP）記載」というユースケースに、誰も身長、体重、血圧、という項目セットを考えなかった（単なるワープロのごとし）
ユースケース（例）：電子カルテ/脳外科の手術記録、精神科の経過記録、PHR/糖尿病のPHR、乳癌のPHR、認知症支援PHRなど



未だに、電子カルテからの身長、体重、血圧の標準的な取得は不可

PHRでは、「この疾患では医学的に何を患者に知らせるべきか、患者は何を見たいか、患者が考えることを促すか、医療に参加したくなるか、モチベーションがあがるか」、などを考えてユースケース・項目セットを決める必要あり
(80%ルールで！)